

スカイビューマップ

財団法人 砂防フロンティア整備推進機構

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4砂防会館別館6F (TEL 03-5216-5871)

キーワード: GIS、オルソフォト、警戒避難、土砂災害警戒区域、ハザードマップ

1. 概要

本システムは道路地図に土砂災害防止法に基づく基礎調査で作成されたオルソフォトを重ねMorphing手法を用いて地図と写真を任意比率で表示する警戒避難基礎情報システムです。土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所などの情報が道路や家屋などの住民情報とともに検索することができ、正確かつ簡単に表示できる。これを用いることにより、地域住民や市町村関係者が土砂災害の危険性の把握や避難行動を的確に行うことが出来る、非常に利用価値が高いシステムです。

2. 特徴

平成13年に土砂災害防止法が施行され、これにより各都道府県の砂防部局では高精度(1/2500)の航空写真(オルソフォト)やポリゴンデータを含む基盤地図のデジタルデータが整備され、それらのデータを用いて土砂災害警戒区域等の設定作業が進められています。

本システムは、この貴重な高精度データを、調査のみならず調査後に設定される警戒区域等の表示や行政・住民への広報ツールに活用できる画期的なものです。

本システムはMorphing手法を用いて地図と航空写真を任意の濃度で重ね合わせて表示できるのが特徴で、この表示システムに土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所などの情報を重ねて表示することにより、道路や家屋などの住民情報とあわせて容易に検索でき、正確かつ簡単に表示・印刷できるようにしました。

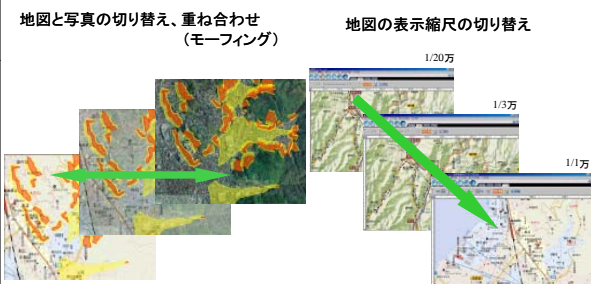
利用者はDVDにインストールされたスカイビューマップに住所等の情報を入力し、自宅付近を表示することによって避難場所までの経路や所要時間を地図上で簡単に検索でき、また、航空写真と重ね合わせることによって容易に土地勘を得て避難行動の図上シミュレーションを的確に行うことが出来ます。このシステムは操作が非常に簡単で、プリントアウト時には縮尺が1万分の1に自動設定されるようにするなどの工夫がなされています。

3. 導入実績

本システムは平成15年度および平成16年度の砂防学会研究発表会で発表され、平成17年度には砂防学会砂防技術賞を受賞しました。(特許:第3779305号)

また、日本宝くじ協会の助成対象事業に選定されており、平成20年度末までに当財団の公益事業として砂防関連電子情報を無償保管させていただいている全国25都県のスカイビューマップが作成され、配布されています。

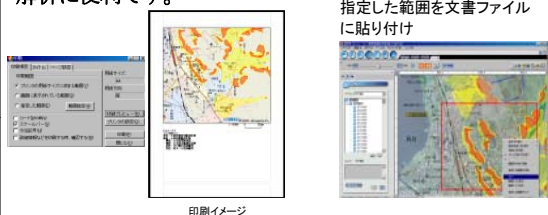
地図と写真画面はワンタッチで切り替えや重ね合わせ表示が出来、縮尺も1/200,000から1/10,000まで自由に変わります。



また、住所や郵便番号等からの検索も可能ですので場所を容易に探し出す事が出来ます。



表示箇所は正確に1/10,000でプリントアウトすることが可能です。また、表示画面上で任意の範囲を指定して、文書ファイル等に貼り付けることも出来ますので、種々の資料作成、解析に便利です。



さらに、2地点間の距離と移動時間が計算出来ますので、自宅から避難場所までの距離、移動時間等を調べることが出来ます。



【問合せ先】

砂防管理情報センター 担当 西村卓師 (TEL.03-5216-5855)